

■シリーズ■

中学校武道

授業の充実に向けて ④

指導教本のねらいと活用のポイント なぎなた

財団法人全日本なぎなた連盟普及委員会部長

今浦 千信

中学校武道必修化にあたり、学校現場では柔道・剣道・相撲以外は、よほど特別な理由がない限り実施種目として選ばれることはないとの誤解があるようです。また、男性教員が武道を、女性教員がダンスを中心に（特に女性教員は女子生徒の）体育実技指導を行おうと考えている学校が多いように感じます。

『楽しいなぎなたの授業 指導の手引』（以下、『指導の手引』）作成にあたっては、男女を問わず保健体育の教員が、まず、なぎなたに興味・関心をもち、実施種目として選んでもらえるよう、まとめました。

1 『指導の手引』作成の組織的背景

た連盟では、普及委員会を中心に、中学及び高等学校の教員で組織する「中学校武道必修化に伴うプロジェクト委員会」を立ち上げました。

平成20年4月、全日本なぎな

なぎなたは、各都道府県にお



全日本なぎなた連盟発行
『楽しいなぎなたの授業 指導の手引』
(A4判、120頁、DVD付)

目次

発刊にあたって

はじめに

I. 中学校体育授業としてのなぎなたの目標

中学校学習指導要領解説 一抜粋一

中学校で学ばせたい「なぎなた」学習内容の
取り扱い

「なぎなた」指導内容のまとめ

II. 授業の実践例

①単元の計画

1・2年生…6時間・10時間の指導案

3年生……選択授業指導案

②評価

III. 学習の資料

①なぎなたの歴史 ②しかけ応じ

③用語の解説 ④学習のプリント

あとがき

いて中体連なぎなた部の活動実績が多いとは言えず、クラブ活動に参加する生徒は極めて少ない状況です。当然、その知名度も低く、学校現場になぎなたを取り入れてもらうには指導者の養成が必至と考えられます。これに関連し、各都道府県で指導者講習会を開催するにあたり、基礎資料となる指導の手引書が必要となりました。そこで作成

は、限られた授業時間の中で、

なぎなた授業の目標

2

にとりかかり、平成22年3月、2年をかけて『指導の手引』が完成しました。

礼法をはじめとした、武道（なぎなた）の特性をいかに効果的に伝えるかが、課題となります。そこで、保健体育におけるなぎなた授業の目標を、以下の5つに定めて『指導の手引』に示しました。

①日本の伝統的な行動様式に触れることで、静と動のけじめある身のこなしを体得させる。特に立礼・正座・座礼などを学ばせる。

②「なぎなた」の（変化に富んだ多様な）動きを体験し達成感や充実感を味わわせる。

③特に運動の苦手意識が強い生徒にも取り組みやすい動きや課題を具体的に提示し、仲間と協力する態度を育てる。

④裸足で授業を行うことにより、靴をそろえる習慣をつけるとともに、指先まで意識した運動を行わせ、脳を活性化させる。

⑤基本的な約束事の体得を通して相手を尊重する態度を表現することを学ばせ、日常生活の中で生かせる習慣を身につける。

『指導の手引』の特徴

3

（1）学習内容の取扱い

新しい学習指導要領の解説では、指導内容が「技能」「態度」「知識、思考・判断」に整理・統合され、明確になりました。しかし、示されたのは柔道・剣道・相撲の3種目のみのため、『指導の手引』では、学習指導要領に基づいた、なぎなた独自の指導内容をまとめました。また、体系的に把握できるように、それを図式化した（次々頁資料）。

（2）2種の指導案

学校現場では、多くの学校行事の中で授業時間の確保に苦心しています。保健体育の授業も例外ではありません。一つの領域を長い休みをまたがず連続して行うには、6～10時間が精一杯だと思えます。

そのため、『指導の手引』では

6時間用と10時間用の2種の指導案を作成しました。それぞれ時間内に評価まで行うので、多くの内容は望めませんが、初めて体験する種目として興味・関心をひき、安全に配慮した内容になるよう留意しました。

特に、長い棒を持つてうまく扱うという中に、なぎなたを大切にし、人に当たらないように配慮しながら安全な間隔を確保する動作を心掛けるように示しました。そのほか、身体を真っ直ぐ保ち、動きとともに声を出すことなど、日常生活の中では経験できないことを多く取り入れました。これらのことにより、他人を敬う心が育つとともに、靴をそろえる習慣が身につくなど、自分の行動を省みて自らを律することが

出来るようになってほしいと考
えます。

(3) 活用できる資料を充実

巻末には、授業で活用できる資料を充実させました。具体的には、なぎなたの歴史や専門用語をまとめたり、なぎなたの構造と取り扱い方、構え・体さば



イラストを多く用いた巻末資料

快適で安全な都市空間の創造をめざす・・・東洋実業グループ

- ビルディング・トータル・マネジメント ●清掃等建築物の環境衛生管理
- 空調、電気、水系統等諸設備の運用、管理 ●警備、保安、駐車場管理
- 原子力セキュリティ及び施設メンテナンス ●工場、ダム等のセキュリティ
- 案内、受付他料金徴集業務 ●公園等のグリーンメンテナンス
- ビルメンテナンス用ソフトの開発販売 ●バイオ研究開発
- その他建築物の運用、管理に係る一切の業務

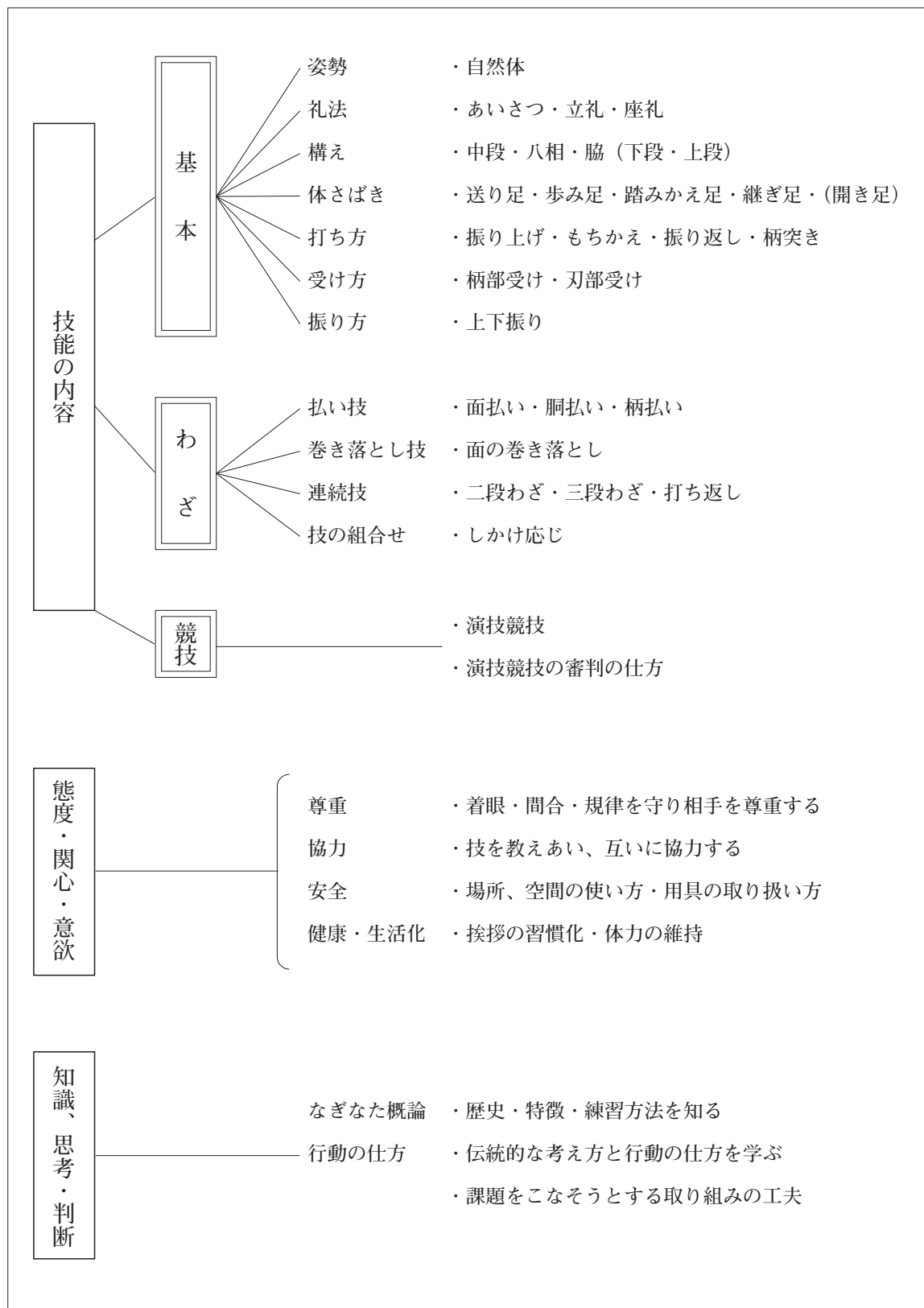


株式会社 東洋実業

代表取締役 横田 正弘

札幌本社／札幌市中央区北六条西22丁目250番14東実ビル TEL(011)612-1911(代)
 東京本社／東京都新宿区西新宿1丁目26番2号新宿野村ビル TEL(03)3345-0531
 営業所／函館・室蘭・苫小牧・千歳・恵庭・小樽・余市・岩内・石狩・岩見沢・旭川
 士別・富良野・占冠・帯広・北見・釧路・日高・遠別・深川・埼玉
 海外事業／株式会社東洋実業マレーシア／東洋実業シンガポール PTE. LTD./東洋
 セキュリティ&ビルディング・マネジメント(香港) LTD./

(資料) 中学校で学ばせたい「なぎなた」学習内容の取り扱い



◎付録DVD

内容Ⅱ1年生の授業、2年生の授業、しかけ応じ、リズムなぎなた



き・振り方をイラストと写真を用いて詳しく解説しました。また、生徒の自己評価票、ペーパーテストに使える座学・プリント学習の一例なども加えました。さらに、視覚的な理解を促すため、『指導の手引』の内容に沿ったDVDを付録としました。

4

授業の実際

なぎなたの授業は、人数分のなぎなたがあれば、体育館で体

操服と裸足で出来る種目です。特に、裸足での授業は効果的です。「なぎなたの目標」にもあるとおり、指先まで意識した運動を行うことで、脳の活性化につながります。筆者の指導経験からも、生徒たちは解放感を覚えるようです。

実際には、授業を始める前に体育館の入口できちんと靴をそろえ、裸足になり、その後「正座」を行います。欧米化してしまっただ現代社会では、正座は体罰として行うものだと大きな勘違いをしている生徒が多いのも現実です。心を落ち着け背筋を真っ直ぐに正し、静かに精神統一をする集中力をつけてほしいと思います。

礼法については、正しい礼の仕方を、ほとんどの生徒が知りません。指導にあたっては、なぜ相手に礼をするのかを教える必要があります。単なる形だけの礼ではなく、相手の存在を認め、「お願いします」「ありがとうございました」の気持ちを礼

という形に変え、自分の心を伝える機会であることを理解させます。

進んだ段階では試合を取り入れてほしいと思います。防具がそろわない学校が多いので、「打ち返し」か「しかけ応じ」で試合形式を取り入れるとよいでしょう。評価も生徒同士で行わせ、他人の技を見る力を養います。

グループ学習としては、「リズムなぎなた」を導入すると効果的です。『指導の手引』でも紹介していますが、それぞれのチームが学習した基本の技を曲（リズム）に合わせて表現します。

他人と協力して演技を創作し、互いに意見を出し合うことは、生徒たちにとって、とても楽しいことのようにです。集団行動と



「しかけ応じ」の試合（全国中学生なぎなた大会より）

しては、文化祭の舞台発表や、体育祭の集団演技として取り上げられることも可能です。今回の学習指導要領において、男女ともにダンスも必修化されましたから、ダンスの協調性と表現力を、武道の伝統的な行動様式にあわせて、心と身体を育てる体育授

業の展開も可能だと考えます。

電話 072・775・2838
FAX 072・772・2062

5 『指導の手引』の 入手方法

『指導の手引』は各都道府県な
ぎなた連盟や教育委員会などに
2000部が頒布されています。
入手方法については左記にお問
い合わせ下さい。

■お問い合わせ先

財団法人なぎなた連盟事務局

〒664-0851

兵庫県伊丹市中央3丁目5-8

6 おわりに

保健体育科の教員が、自分の
専門外の種目を生徒に教えるこ
きは、教本やDVDを活用し、
種目の成り立ちから技の起こり、
練習方法まで勉強します。また
そのために、積極的に講習会に
参加し、繰り返し練習してから、
安全に留意して授業に臨みます。

さらには、授業をすすめながら
生徒を評価しなければなりません。
様々なことが求められている
中で、教員がこの『指導の手引』
のみで、実際に授業を展開する
ことは難しい場合もあるかと思
います。そこで全日本なぎなた
連盟としては、ニュースポーツ
や、ダンスの講習会のように、
気軽に参加できる「なぎなた講
習会」の企画・実施を検討して
います。教員の方々には、『指導
の手引』の実技内容と授業展開
案を参考にしていただきながら、
学校や生徒の実態に合わせた授

業を実施してほしいと考えます。
今回、『指導の手引』作成にあ
たってはタイトルに「楽しいな
ぎなた」という言葉を加えまし
た。それは、武道の堅苦しいマ
イナスイメージを取り除きなが
ら、なぎなたを多くの中学生に
親しんでもらい、「かたなし社会」
といわれる現在のルーズな時代
に、しっかりとした人としての
「型」を身につけてほしいか
らです。『指導の手引』が多くの
先生方の目にふれ、なぎなたに
興味・関心を持っていただけれ
ば幸いです。

「日本教育新聞」購読者特典

QA 教育を応援するコミュニケーションサイト

先生解決ネット

※日本教育新聞社の運営サイトです。

N 日本教育新聞社

“先生方をもっと応援していこう!”

を合言葉に、オープンした
ホームページが「先生解決ネット」。

Communication

教育専門 Q&A

先生方が日頃抱えている疑問や課題を、
全国の「同僚」と共有し、知恵を出し合いながら
答えが導けるように、応援するための
教育専門 Q&A サイトです。



今日の生徒の言葉…
生徒指導で最近悩んじゃうなあ。



Archive & Search 教育専門 ニュース

新聞を通じて得た情報を、必要ときに引き出し、
より日常的にご活用できるように、
応援するための教育専門 ニュースサイトです。



イラストレーション:石ノ森章太郎

アクセスはこちらから
www.kyoiku-press.com